

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 前橋市立大胡東小学校（※正式名称を記載）

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫※注 1

☐ 中学校 ☐ 中高一貫※注 2 ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒371-0224

群馬県前橋市河原浜町 870 番地 1

E-mail oogohigashi-es@mail.menet.ed.jp

Website <http://menet.ed.jp/oogohigashi-es/>

幼児児童生徒数 男子 261 名 女子 246 名 合計 507 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 12 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

（1）活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校では、「自ら考える力とたくましい心と体を持ち、笑顔あふれる大胡っ子の育成」を学校教育目標とし、「自分を鍛えるいい笑顔」「みんなと仲良くいい笑顔」「進んで勉強いい笑顔」の 3 点を具体目標として教育活動に取り組んでいる。

ユネスコスクールとしての取組を推進する上で、特に、①「国際理解教育」や②「福祉教育」、③「人権教育」の充実が大切であると考え、総合的な学習の時間における「世界寺子屋運動」に関する学習、「ペットボトルキャップの回収」を通じた福祉活動、「人権教育」を基盤とした教育活動などに取り組んでいる。

①「国際理解教育」に関わる学習

【4年生】

4年生の総合的な学習の時間において、「国際理解教育」の一環として「世界寺子屋運動」について学習している。発展途上国においては、食料や医療が不足するだけでな、教育についても十分な学習の機会が確保されていない現状などについて、課題追究型の学習を通して理解を深めている。

【全校】

児童の代表委員会が中心となり、ペットボトルキャップの回収に取り組んでいる。校内にペットボトルキャップ回収箱を設け、集まったペットボトルキャップを代表委員が回収し、地元の社会福祉協議会に定期的に届けている。ペットボトルキャップは、約2kgで子ども1人分のポリオワクチンとして活用されるが、この1年間で300kg以上を集めることができた。また、年明けには、「書き損じ葉書の回収」に取り組んでいる。これらの活動を通して、発展途上国に対して積極的に支援をしようとする意欲を高めることができています。

②「福祉教育」に関わる学習

【5年生】

地元の社会福祉協議会の方々のご協力をいただき高齢者疑似体験を行うことにより、運動能力の低下や視力の低下をはじめとする高齢者が生活する上でのさまざまな苦労などを共感的にとらえるとともに、率先して援助の手を差し伸べようとする心情を高めることができた。

③「人権教育」に関わる学習

人権重要課題の一つである「子どもたち」「外国籍の人々」などを切り口として、全校朝礼等の機会を利用して、校長による講話を行うことにより、互いに尊重し合うことの大切さ、国籍等に関係なく相手を一人の人間として尊重し合うこと、差別をしないこと、進んで相手の手助けをすることなどの大切さについて指導した。

①（寺子屋運動）（ペットボトルキャップ収集）

回覧 大胡東小学校からお願い
(本校は世界で活動しているふたごの国運動です。)

世界寺子屋運動
「書き損じ葉書・不要になった葉書」
回収のお願い!

世界には、文字を知らない、書いたり、計算をしたりすることができない人や子どもが数多くいます。世界をやすむために働いて学校にいけない子どもたちや、戦争や災害のために学校に行けなくなった子どもたちがいます。そのような人たちのために、学びの場（寺子屋）をつくる運動が「世界寺子屋運動」です。

はがき1枚、40円分が…
①北の国で活動しているふたごの国運動
②アフリカで活動しているふたごの国運動
③オーストラリアで活動しているふたごの国運動
④インドネシアで活動しているふたごの国運動
⑤タイで活動しているふたごの国運動
⑥フィリピンで活動しているふたごの国運動
⑦ベトナムで活動しているふたごの国運動
⑧カンボジアで活動しているふたごの国運動
⑨ラオスで活動しているふたごの国運動
⑩ミャンマーで活動しているふたごの国運動
⑪ネパールで活動しているふたごの国運動
⑫ブータンで活動しているふたごの国運動
⑬モンゴルで活動しているふたごの国運動
⑭中国で活動しているふたごの国運動
⑮韓国で活動しているふたごの国運動
⑯日本でも活動しているふたごの国運動

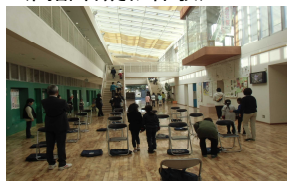
書き損じ葉書1枚が45円の、募金になります。
大胡東小職員玄関の入り口に回収箱を置きますので、
書き損じ葉書の回収にご協力ください。

皆さまのご協力をお願いします。

大胡東小学校 4年



②（高齢者疑似体験）



③（人権教育に関わる学習）



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な	<input type="checkbox"/> 12. 貧困

		生産と消費	
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

世界寺子屋運動、ペットボトルキャップ運動、世界各国の現状等に関する web サイト。

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

4年生においては、総合的な学習の時間の「国際理解教育」「福祉教育」の学習として位置付けている。児童にとって探究的な学習になるように、コンピュータ等を活用しながら学習に取り組んでいる。また、学習の成果を全校に広めたり、協力をよびかけたりするために児童会活動の一環として位置付けて取り組んでいる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

国際理解教育主任をユネスコスクールの活動の担当者として位置付けるとともに、総合的な学習の時間主任、人権・福祉教育主任との連携を密にして、指導計画の改善・充実に努めることにより、全教職員の共通理解の下、組織的な推進ができるように努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価における質問項目として「学ぶ意欲を高める授業づくり」、「課題を把握し、試行錯誤しながら自ら考える授業の充実」、「自分の考えをもち、互いに考えを深める授業の充実」、「体験的な学習を重視した授業の推進」、「学びの質を高める ICT 活用の推進」を設定し、児童及び教師の評価を行うとともに、総合的な学習の時間に使用している学習カードへの児童の記述等に基づいて評価している。これらの結果、児童の国際的な視野を広めることができるとともに、地球市民の一員として国際貢献に努めようとする意欲を高めることができた。しかし、4年生以外の児童については、まだ十分な広がりが見られなかった。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

世界には、環境問題、貧困問題、人権問題、国際平和問題など地球規模の課題があるが、学校における学習の成果を学級通信や学校通信等で保護者や地域に紹介するとともに、学校の web サイトでも紹介することにより、主に地域を対象に情報発信に努めている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など）（200字程度）

※チェック事項 2-3 に対応

地元の社会福祉協議会との連携を密にすることにより、学習内容の充実を図っている。また、「前橋ユネスコ協会総会」の場で情報交換等を深めることによりネットワークの構築に努めている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクールに加盟している国内の学校の web サイトを定期的に閲覧することにより、情報収集に努めている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（２００字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

ユネスコスクールとしての取組を通して、児童の国際貢献に努めようとする意欲を高めたり、奉仕の気持ちをもって活動したりすることの大切さを理解させることができたことが大きな成果である。また、活動を推進する上では、福祉教育や人権教育との関連を図ることが不可欠であるが、ユネスコスクールとしての取組により、それらについても学習を深めさせることができた。

- （３）平成 30 年度の活動計画（２００～４００字程度）

平成 30 年度も基本的に 4 年生の総合的な学習の時間における「世界寺子屋運動」、「書き損じ葉書の回収」、「高齢者疑似体験」、「人権・福祉教育の充実」などを中心に進めていくが、外国語科や外国語活動が本格的に実施されるので、それらの中にユネスコスクールとして工夫できる内容を検討していく予定である。